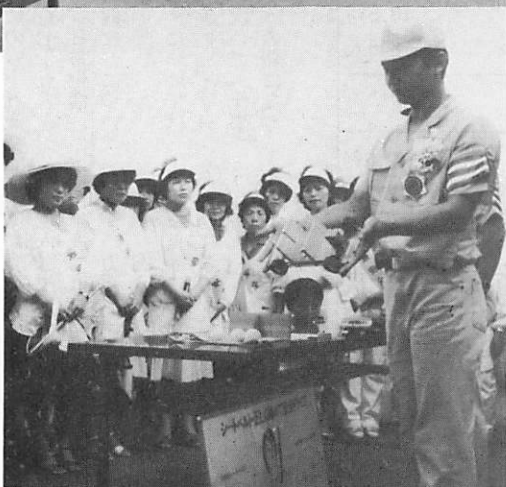




▲総理府総務長官からのメッセ
ージを受けとる町長

鶏卵を使つてのシートベルト
着用実験



玄関にシートベルト着用モデル事業所
の看板をかける職員

シートベルトを 着用しよう

交通安全キャラバン隊来町

「みんなですめる交通安全」をスローガンに、全国交通安全母の会のキャラバン隊が、八月二十四日午前九時、阿知須町を訪問しました。

これは、交通安全思想の普及を図るため、交通キャンペーンを実施しているもので、当日は三好町長、井関、阿知須婦人会母の会の人たちの拍手の迎えをうける中を到着。県連合婦人会母の会の林トラ会長から「交通安全意識の高揚と道徳のかん養で思いやりのある心をもった行動

をとることが大切」と書かれた総理府総務長官の決意と希望のメッセージが、三好町長へ伝達されました。

伝達後、玄関前で、鶏卵を使ってシートベルトの着用実験が行われましたが、実験を見学した人たちは、シートベルトの大切さをあらためて認識しました。また、八月十一日町役場は、小郡警察署と小郡地区安全運動管理者協議会から、シートベルト着用モデル事業所の指定を受けました。

余生を!!

老人福祉週間

現在、わが国のお年寄りは一千万人を越え、総人口の約九%を占めています。この割合は、今後ますます増えるものとみられ、三十三年度の昭和九十年には、二〇%を超えると予想されています。五人に一人がお年寄り、高齢者問題は今や国民全体の課題であるといえます。わが阿知須町でも別図Iのとおり、高齢者人口は、年々増加しており昭和五十五年の国勢調査では千五百十人を超え、住民全体の一三・八五%を占めています。また、町社会福祉協議会の調査（五十七年五月一日現在）で



図 I 年齢三区分人口（国勢調査）

	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
45年	20.8%	1,667人	5,523人	68.7%	10.5%	845人					
50	21.0%	1,711人	5,449人	67.0%	12.0%	977人					
55	20.8%	1,732人	5,442人	65.4%	13.8%	1,153人					
	0～4歳			15～64歳			65歳以上				
	(幼少年人口)			(生産年齢人口)			(老齢人口)				

楽しみはテレビ・ラジオ 不安は健康問題

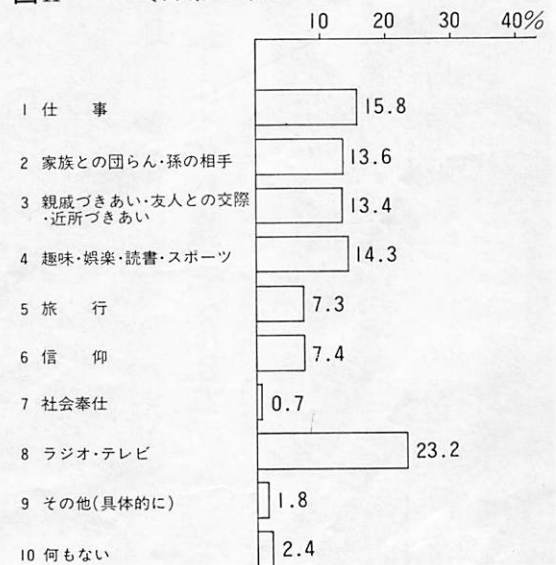
このアンケートは山口県高齢化社会問題研究会が昨年十一月に、瀬戸内沿岸、日本海沿岸、内陸山間、都市地域の六十五歳以上のお年寄り六百七十五人を対象に、生きがい、日常生活、社会参加、健康状態などについて行ったものです。

(1)「日常の楽しみ」については図IIのとおりで「テレビ・ラジオ」が最も高く、次いで「仕事」「趣味・スポーツ」の順になつていきます。

(2)逆に「不安」に感じるのは「健康問題」で（八〇・一%）圧倒的に多いことです。阿知須町の老人医療費の支給状況（五十六年度）は受給者数七百九十九人、一万五千三百三十三件になっています。例えば医療費が無料としても、健康であることの方がしあわせにつながるといえます。

は、ひとり暮らし老人は五十六人、また、ねたきり老人は十六人（自宅療養六人、入院十人）です。九月十五日は「敬老の日」、十五日～二十一日は「老人福祉週間」です。この機会に、老人の楽しみや不安などについてどう考え、どんな感じをもってもらえるか、アンケートから拾ってみましょう。

図 II <日常の楽しみは>



余生を有意義におくるには

- (3)日常生活について
 - ・家族や友人などとの接触を深めながら余生をおくる：四四%
 - ・働ける限りは、自分の特技や長年の経験を生かして働きたい：三三%
 - ・となつていきます。
 - ・老人クラブでの活動や家族とのふれあい、また、仕事や趣味などが、余生を有意義におくる重要な要素といえましょう。
 - (4)参加している団体については老人クラブがトップで、次いで宗教団体の順です。阿知須町には二十の単位老人クラブがあり九百人（老齢人口の七八%）が加入されています。
 - (5)悩みや心配ごとの相談相手
 - ・家族 八〇・〇%
 - ・親戚 八・八%
 - (6)子どもと同居していない人と家族が圧倒的です。
- (7)仮りに寝たきりになったとした場合、身の回りの世話を誰れにしてもらいたいかについては
 - ・配偶者 三七・五%
 - ・子や孫 五三・四%
 - ・となつており、九割以上が身内の人と答えています。
 - (8)収入面をみると公的年金が七五・八%と最も多くなつています。

本町の老齢福祉年金、老齢年金の受給者は八百人あり、六十五歳以上の人口の約七〇%に当ります。



充実した

15日～21日

敬老会に八百二十八人を招待

十五日に町公民館で

九月十五日は「敬老の日」です。町では長寿をお祝するため七十歳以上のお年寄り八百二十八人を招待し、午前九時から町公民館で開きます。五年前に比べると百二十四人の増です。

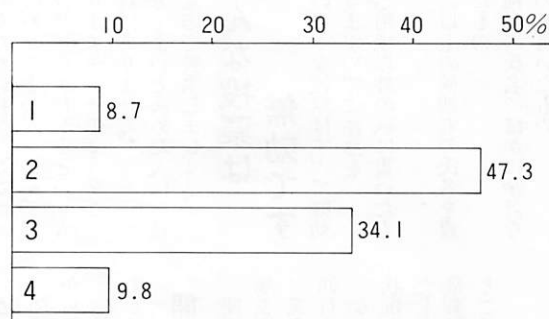
九十歳以上の高齢者

哥川 スエ 明治一七年 河内
浜西 サツ 二〇 白松苑
岩野 トク " " "
林 クニ 二二 築地
武永 ツキ 二二 中村
藤本 イワ 二三 白松苑

田辺 磯一 明治三三 白松苑
江本 スエノ 二四 縄南
上村 太平 " " "
田辺 ミチ " " "
村長 スエノ " " "
重村 房一 " " "
兼定 シケコ 二五 西条
磯部 留三 " " "
吉野 貫一 " " "
松浦 萬治 " " "
山本 浮藏 " " "
市川 修三 " " "
中村 光 " " "
旦西 旦西

長尾 ナヲ 明治二五 白松苑
柳井 マツヨ " " "
今年度米寿を迎える人
磯崎 弥作 明治二七年 縄南
中嶋 ヨシ " " "
岡野 ナツ " " "
上野 チヨ " " "
上野 タケ " " "
福富 ハナ " " "
古井 キタ " " "
福田 優一 " " "
武永 正明 二八 小南
竹田 正彦 " " "
松崎 精一 " " "
水本 イシ " " "
山田 マキ " " "
藤井 益一 " " "
兼重 ヨシノ " " "
白松苑 小南 井関 浜表 寺河内 杖川 杖川 井関 岩前 岩前 白松苑 浜 縄南 引野

図III <今後子どもと同居したいか>



- 1……はやく同居したい。
2……当分は別居でよいが、そのうち同居したい。
3……ずっと別居のままでよい。
4……どちらともいえない。

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言いますが、心と体は密接な関連を持っており、体の病気が精神疾患を引き起こすことが多いのです。

とりわけ、お年寄りの場合は風邪をひいて寝込んだり、手術などでしばらく入院したりすると、うつ病やボケ症状になりやすいことが知られています。ですから、年を取ったら健康に十分注意し、重い病気にかからないようにすること—これが、心の健康を保つ上で何よりも大切な条件と言えるでしょう。

心の病気で一番多いのは「うつ病」

体の病気をきっかけに起こる精神疾患のうちで最も多いのがうつ状態（うつ病）です。

うつ状態になると、人間や物事に対する関心が薄れ、顔の表情や声にも生き生きとしたところがなくなりま。さらに不眠

「健全な精神は健全な肉体に宿る」と言いますが、心と体は密接な関連を持っており、体の病気が精神疾患を引き起こすことが多いのです。

うつ状態にあるお年寄りは、自分自身を「本心にだめだ」と思っていることが多く、単なる言葉の上での慰めや励ましは、かえって自信を失わせる結果に終わることがあります。大切なことは、例えば「今は病気で苦しいが、きっと良くなります。しばらくの辛抱ですよ」といったように、まず、お年寄りの置か

お年寄りとの心の健康

例えば、定年退職退職によって社会的なつながりを失い、ときには生きる目的すら見失ってしまうことがあります。老人の場合、このように幾つかの損失体験が重なって起こりますので「複合性損失」ともいっています。

こうしたことから精神的なストレスが高じ、うつ状態に陥ったり、強い被害者意識にかられたりするようになるのです。

老人のうつ状態では、物忘れがひどくなります。一見、痴呆のように見えますので、仮性痴呆と呼ばれます。これは、あくまでも仮性、つまり痴呆のような状態のことであって、脳の重要な

老化や血管障害によって起こる老人の痴呆とは異なり、うつ病が治れば仮性痴呆は治ります。体の許す限り適度な運動をさせ、たとえ庭の掃除当番でもいいから、家族の一員としての役割を与えること。同時に、他人との交際や社会活動に参加できるように家族みんながバックアップをする—こうしたことが、お年寄りの能力に合った手助けをお年寄りには、これまでに培ってきた潜在的な適応能力があります。その能力に応じてお年寄りの手助けをすることこそ、周りにいるわたしたちの責任と言えるでしょう。

老年期は、やがてはだれの上にも訪れます。「お年寄りとの心の健康」は、わたしたち一人ひとりとって避けては通れない重要なテーマなのです。

あなたの一票で 明るい町政を

町議会議員選挙

9月12日(日)

九月十二日は阿知須町議会議員選挙の投票日です。この選挙は、これから四年間わたくしたちの代表として、直接町政に参加する人を選ぶ、たいせつなものです。

みなさんが、日頃からもっている町政への関心をこの選挙で生かし、自覚と良識のある一票を投じましょう。

あなたの投票所は

投票は、不在者投票を除いてすべて定められた投票所で行うことになっています。配布された「投票所入場券」で、あなたの投票所をよくお確かめください。投票所は次の四か所です。

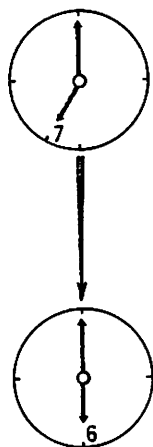
- 第一投票所 漁業協同組合
- 第二投票所 農協野菜市場
- 第三投票所 第三分団消防機庫
- 第四投票所 農協野口支所

入場券を忘れずに

投票所入場券を、各家庭に配布するようになっています。もし、選挙人名簿に登録される資格がある人で、この入場券

投票は「午前七時」から

投票時間は、午前七時から午後六時までです。



不在者投票

投票日に、次のような事由でみずから投票のできない人は、必ず不在者投票をしましょう。

○自分の属する投票区の区域外で職務または業務に従事する人

○やむを得ない用務や事故のために町外へ旅行中、または滞

が届かない人は、選挙管理委員会へおたずねください。

投票所入場券は、投票所での受付などの手続きを早く済ませるための整理券の役目や、お知らせをかねているものです。入場券が届かなかった人、しいて忘れた人でも、選挙人名簿に登録されていれば投票できますから、当日投票所で再発行を受けてください。

在中の人

○病気やけが、妊娠、老衰などのために歩行が著しく困難な人

これらの人は、告示の日（九月五日）から投票日の前日（九月十一日）までの間、町役場で不在者投票ができます。

期間中、毎日午前八時半から午後五時まで受付けています。印鑑を持って、おいでください。また、県の選挙管理委員会が指定した病院などに入院している人は、その施設で不在者投票ができます。早目に施設の管理者にお申し出ください。

郵便による

不在者投票

在宅投票制度といって、身体に重度の障害のある人は、郵便によって不在者投票をすることができます。

この制度は、身体障害者手帳または戦傷病手帳を交付されている人で、その障害の程度が一

選挙人名簿登録者数

(昭和57年 9月1日現在)

男	2,814 人
女	3,368 人
合計	6,182 人

定の基準にあてはまる人に限りです。

くわしいことは、選挙管理委員会におたずねください。

字が書けない時には

投票は、自分で書くのが原則ですが、からだの不自由であったり、字が書けないために、自分で投票できない人は、当日係員に申し出てください。あなたが指示する候補者の氏名を代筆してくれます。

もちろん、投票の秘密は固く守られますので、ご安心ください。

投票の秘密は

守られます

あなたが投票された投票用紙は、開票の際、投票箱から出し、他の投票区の投票用紙とよくかきまぜてから開票します。

だれがだれに投票したかは、絶対にわかりません。よく、だれに投票したかわかるという人がありますが、そのようなことは絶対にありません。

自分でよいと決めた人に、自分の意志で投票しましょう。

こんな投票は

無効です

- 次のような投票はすべて無効になりますのでご注意ください。
- 投票用紙以外の紙に書いたもの
- 二人以上の候補者の氏名を書いたもの
- 候補者の氏名のほかに余計なものを書いたもの

前回(昭和53年 9月10日執行)の 阿知須町議会議員選挙投票率

男	93.30 %
女	96.09 %
計	94.81 %

○ 候補者の氏名を自書しないもの

○ だれを書いたか、わからないもの

開票は

「午後七時半」から

開票は、即日、午後七時半から町役場会議場で行います。三時間ぐらいたれば当落が確定する予定です。

開票状況の中間速報

開票状況の中間速報は、町役場玄関前に掲示します。

発表は、最終発表までに、二回行う予定です。

なお、開票中電話による中間状況のおたずねには、お答えいたしかねる場合があります。開票事務処理上やむをえないこととご了承をお願いします。

健康の窓



上半身を丈夫にする「這い這い」

今月は育児相談の記録からとりあげてみましょう。

「母親」十か月の男の子。物につかまって立つことも、はうこともしません。医者の診断では、標準というものから見れば発育が遅れてはいるが、診察してみても悪くない。ただ、「おくてのおとなしい子」といわれるだけです。

「所見」最近、はいはい「しない」で「立つち」する赤ちゃんが意外に多いようです。部屋の構造が和風から洋風になり、調度品も座敷机、やぐらこたつ、座卓など少なく、赤ちゃんにとつつかまるところが少なくなりました。椅子やソファは不安定、じゅうたんはごみがあつたので、はいはいをさせたくないと考え、親が多くなっています。そこで、歩行器を使うのですが、これを使うと、赤ちゃんはあつちへ行ったり、こつちへ行ったりします。母親は「もう歩けるようになった」と喜び勝ちですが、これは錯覚で

あつて実際には歩行器が動いているのです。歩行器に入れておく時間が長ければ長いほど、はわなない赤ちゃんになつていきます。

「はう」ことは、大人の腕立て伏せと同じで、この期間に肺や心臓を強くし、上半身の発達を促すことになるのです。座る、這う、歩くの順序は、健康で丈夫な子どもを育てるための自然の条理です。親が楽だからとか、商業ベースにのせられた育て方をしないで、座敷にころがして、自由にさせてみられたらどうでしょう。丈夫な子を育てる一つの秘訣でもあるのです。

理（町保健婦・岡田良子）

9月 ガン征圧月間

ガンは40〜60歳の働き盛りを突如として襲う

9月は「ガン征圧月間」です。「ガン」による死亡は年々増加しているといわれますが、本町においても別表のように、年間総死亡者に占めるガン死亡者数の割合も、昭和五十三年から一位となつてから、漸増し続けています。

全国的にも、死因第一位を占めていた脳卒中による死亡が横ばいなし減少の傾向を見せ、かわつて急激にガンによる死亡が上昇してきました。厚生省の推計によれば、昭和五十六年、ガンによる死亡者数は、ついに脳卒中によるそれを追いついて死因第一位になりました。

さらに重大なことは、卒中死は比較的高齢者に多かったのに対して、ガンは四十代、五十代、六十代という働き盛りの人を、モロに直撃することです。

最近、手術、放射線、制ガン剤、免疫療法に加え、レーザー光線その他による治療法も発達し、「いったんガンにかかったら最後」という時代は去りつつあります。しかし、だからといって、ある程度以上進んでしまつたガンに対しては、今後いかにすぐれた治療法が開発されたとしても、手の施しようがないことは明らかです。

したがって、今日まだガンに対する完全な予防法が確立されていない以上、少しでも早期に

町の病類別死亡順位

	1 位	2 位	3 位
	実 数 (%)	実 数 (%)	実 数 (%)
52 年	脳血管疾患 17人 (28.3)	ガ ン 11人 (18.3)	虚血性心疾患 4人 (6.6)
53 年	ガ ン 16人 (25.8)	脳血管疾患 12人 (19.4)	虚血性心疾患 6人 (9.7)
54 年	ガ ン 17人 (26.6)	脳血管疾患 15人 (23.4)	心疾患 9人 (14.1)
55 年	ガ ン 22人 (27.5)	脳血管疾患 19人 (23.8)	心疾患 10人 (12.5)

よくいわれます。ガン細胞は、ひとたびふえはじめると、周りの正常組織をこわしながら大きくなって、硬いシコリをつくるからです。また、シコリがある程度以上大きくなると、血液の循環が悪くなるため中心部が空洞の形になります。

五大症状をあげてみましょう。
(1)乳ガンや皮膚ガンのように体表や体表近くにできるガンは、シコリとしてふれることができます。
(2)食道や直腸など食物の通り道（管腔）にできると、通路障害をはじめ、いろいろな症状が出てくる。
(3)中心部が壊死するため、多かれ少なかれ出血をみるようになります。
(4)周りの正常組織をこわすため、その臓器の働きが弱まってくる。
(5)血管やリンパ管を通して、遠くの器官にガン細胞が流れつき（転移）、そこにガン病巣をつくる。

そして、こうした症状からガンを発見することは、それなりに意義のあることです。しかしなかには、かなり進むまで、全く無症状ということも決して少なくありません。

ですから、早期発見、早期治療のために、ちよつとも疑わしい症状がある場合はもちろんのこと、全く自分では無症状であっても、少なくとも年一回は定期検診を受けるようにしたいものです。

ほの学校 わたしの学校

- 〔阿知須小学校〕
- 9日 参観日、水泳納め会
 - 11日 身体測定（二年）
 - 13日 身体測定（三年）
 - 14日 身体測定（四年）
 - 16日 身体測定（五年）、貯金保険の日
 - 17日 身体測定（六年）

- 29日 運動会予行
- 10月3日 秋季大運動会
- 4日 振替休日
- 6日 給食費集金、ジフテリア（六年）
- 8日 校内科学発表会
- 〔井関小学校〕
- 8日 集金日
- 9日 参観日
- 10日 プール納め会
- 11・12 宿泊訓練（五年生）

- 18日 ふるさと学習
- 24日 貯金日
- 〔阿知須中学校〕
- 16日 体育大会予行
- 19日 風しん予防（三年女子）
- 24日 体育大会
- 26日 保険・貯金納入日
- 28日 県体育大会
- 10月5日 保護者参観日
- 6日 諸会費納入日
- 一・二年実力テスト

発見し、ただちに治療する以外に手はありません。厳密にいえば、すべてのガンを早期に発見することはきわめて困難です。しかし、本人さえその気になれば、きわめて早期に発見できるガンも多くあります。そして、早ければ早いほど、一〇〇％の治癒が保障されます。

小さな芽のうちに摘み取ってしまえばガンは恐くない

ガン症状の特徴ということが



「ふれあい広場」はみなさんのページです。
町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画室（有線二四一）へお寄せください。

健康で、きれいなまちを……

住民自身で考え、行動する気運が各地で高まっています。本町でも環境衛生連合会の役員、会員の自主活動でこれが実現しつつあります。ごみバックの整頓、空き缶拾い、下水路の清掃、し尿浄化槽放流の管理、区域内の消毒など、いずれも健康と美化を進める実践活動です。

しかし、これを進めるために役員のいろいろな苦労、地区の悩み、あるいは解決できたようこびなどあるようです。そこで、この活動の指導的な立場にある人たちに登場ねがい、活動の記録、考え方など記していただくことにしました。



初代の会長は故郷中房一さん（小古郷東）でした。



阿知須町環境衛生組合連合会ができたのは昭和四十二年四月です。自分と自分の

みんなでもらう
わたしたちの環境

町環境衛生連合会
会長 酒迎道義

私は副会長でしたが、縄中さんが亡くなられたあと、会長を継いで九年になります。

縄中さんは、近所の川やごみ集積所を長期間、黙々と清掃されました。今は、ごみを出す日時をきめています。当時は入れものや、日時がきめてなかった。利用者のマナーも悪く、ウジのわいた残菜や、人糞を持ち出すものもいました。

それから考えれば今は大分、改善されてきました。

衛生の「衛」は「まもる」ということ。「生」は「生命」つまり「いのち」です。いのちをまもる……運動、それを地域をあげて、進めていくのが環境衛生の実践活動です。会としてはこれから一層、住民運動として広めていくことにしています。私たちの周囲は私たちの手でまもろうではありませんか。

短 歌

桜井 文子

衣裳函のアララギの雑誌読みそ
びれ袋に移せり退院の朝

松尾 君代

亡き母の臥せし病院の二階窓
見上げて雨の舗道をゆきぬ

藤重アヤ子

潮満ちてわずかにのこる岩の上
ひしめき合ひて鴨ら憩へり

正司ウメノ

静かなるみ寺の庭にたちませる
親鸞様の像をおろがむ

長谷川さつき

長雨に土曜の午後を閉されて夕
べに早き米を洗ひぬ

砂村ヤス子

かわきたる我が唇にひえびえと
亡き子のリップクリームをぬる

三吉 琴

舗道には傾く土用の陽の注ぎ黒

ぐろとももの影伸びてゐる

中本 幸枝

星降る夜稲田吹く風うけ乍ら家
族で花火つけて眺むる

木原百合雄

年毎に集う慣いの戦友の会熱海
の語らい更くるを知らず

松代 二郎

東風吹けば通る自動車の埃して
道路の舗装成るが待たるる

平海アサノ

SLをカメラに写す人の群山深

くきて吾はおどろく

師井 泰枝

夏草の茂る我家に帰省せし息子
はお化け屋敷と言ひぬ

渡辺 宮子

鼻欠けてそこはだのみ新しき
石仏ひとつ夏の陽の照る

村井 薫

子ら孫ら去りて静けきこの家を
包むが如く法師蟬鳴く

弥生時代の住居址を発見

焼野遺跡の発掘で

町教育委員会では、八月四日から七日まで、焼野道より南山一帯に分布する遺跡の発掘調査を行いました。

その結果、五・六人が生活していたと思われる住居址、貯蔵庫や、かめの一部分と思われる土器片を発見しました。

教育委員会は、昨年も、貝殻山を中心とした引野遺跡を発掘、弥生中期と思われる石棺などを発見し、今回の調査も注目をあびていました。

今回発見した住居址は、やはり、引野遺跡と同時代のものとみられ、しかも、引野遺跡から約五百メートルしか離れていない地点の高台にあり、町の古代史のナゾを解くカギの一つになりそうです。



阿中が初優勝

町内野球大会

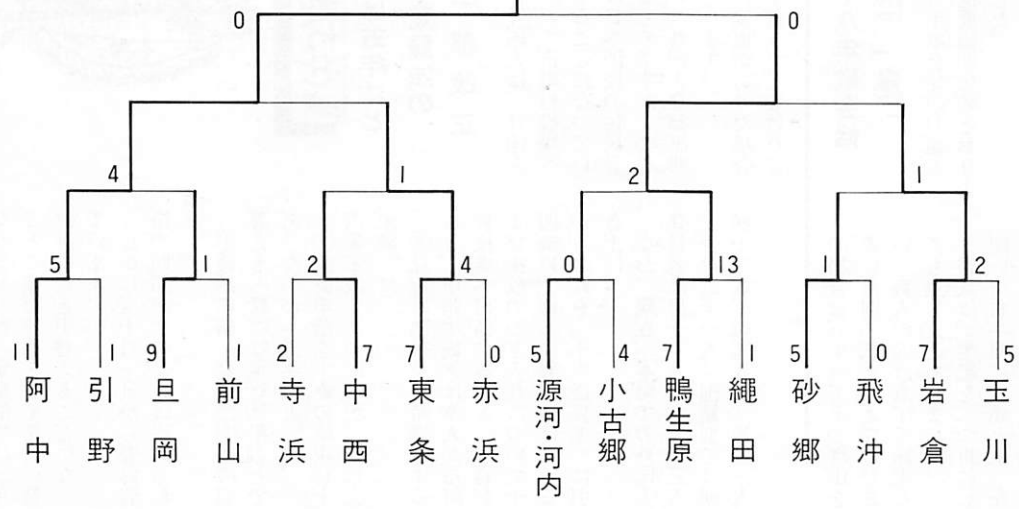
第三十二回町内野球大会は、七月二十九日に阿中・阿中グラウンド、町民グラウンドで行われました。

参加十六チームが熱戦を展開し、決勝は、昨年度優勝の鴨生原チームと阿知須中学校野球部が対戦。

九回まで、相方護らず、0-0で、勝敗が決まらず、ジャンケンの結果、阿知須中学校が念願の初優勝。真紅の優勝旗を手にしました。

優勝 阿知須中学校

(ジャンケン 5-4)



楽しかった夏休み

ソフトボール大会

夏休み期間中、子どもたちは元気いっぱい。子ども会の大きな行事二つに参加、一生けんめいがんばりました。第二十四回子ども会ソフトボール大会と第八回子ども会まつりがそれぞれです。ソフトボール大会は八月四・五日阿知須中学校グラウンドで行われ、成績はつぎのとおりでした。

優勝……砂合子ども会
準優勝……赤浜子ども会
第三位……飛沖子ども会

また、町子連主催の子ども会まつりは、八月二十九日、町公民館で開かれ、夏休みに練習した歌や踊り、劇を、両親や友達



町議選をとりしきる 町選挙管理委員長 木原百合雄 さん(七四)



四年間の任期満了に伴う町議員の選挙が九月十二日行われます。この選挙事務をとりしきるのが町選挙管理委員会。木原さんは四人で構成する同委員会の委員長です。

「四年前の町議選のときは委員の末席におったから人まかせの気分でした。今度はそういうわけにはいきません。緊張しています。」

町議の定数は十八人。過去の

選挙では得票が同数のため抽選で当落を決めたり、一票差で明暗を分けたこともあるので、特に厳正・公平に気を使っ。それだけに「選挙管理委員会の事務局の職員にも、選挙事務を行わ

れる投票所、開票所の人たちにも万全を期していただきたいとお願いしています。」

地方自治法によると選挙委員は「選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治および選挙に関し公正な識見を有する者のうちから、地方公共団体の議会が同数の補充員とともに選挙する」となっています。木原さん以外には現在、竹代徳太郎(西条)・松本俊(旦北)・蔵谷寛(東)さんらが在任中。任期は四年ですが委員が欠けた場合、四人の補充員の中からくり上げ補充されます。

「町議選は私たちにとっていちばん身近な公職選挙です。

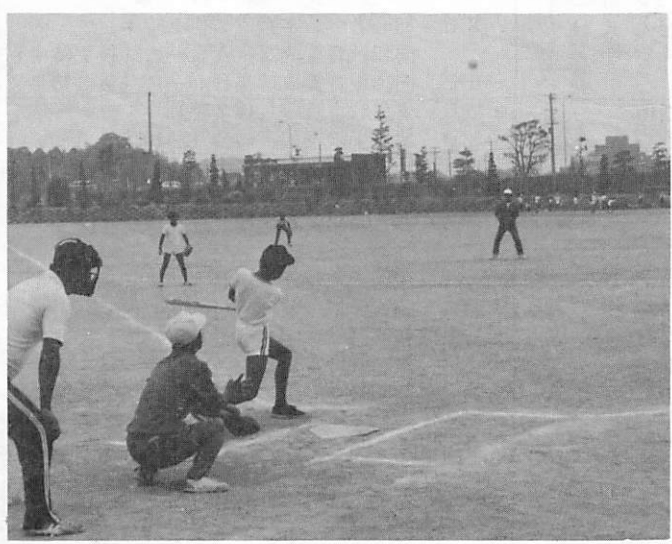
義理、人情、情実など入り込む余地が多分にあります。明らかに正しい選挙によって、本当に自分の身代りとして町政に参画できる人を選んでほしいと思っています。」

昭和三年に衛生兵として応召、中国大陸を転々とし終戦二か月前に内地転任となり、抑留を逃れた。陸軍衛生少尉。二十五年から十七年間宇部市役所勤務、一貫して予防衛生に当った。町内の菊づくりグループの代表、ゲートボール、短歌にも熱心。妻やヨエさんは元井関婦人会長。



▶ 岩倉チームの銭太鼓

15対14の
打撃戦だった優勝戦▼





お知りませ

確認申請は五年ごと

外国人登録法の

一部改正

日本にいる外国人は、外国人登録法に基づいて市町村役場へ登録申請をすることになっています。これは日本国民の住民登録に相当するものですが、この申請をすると「外国人登録証明書」が交付されます。記載事項に変更があった場合その都度、手続きをしなければ

昭和五十八年歌会始

お題は「島」

昭和五十八年歌会始のお題と詠進歌の詠進要領が次のとおり定められました。

一、お題「島」

詠進歌の詠進要領

- ・自作で一人一首、未発表のものに限り。
- ・用紙は、半紙とし、毛筆で自書してください。
- ・病氣又は身体障害のため毛筆で自書することができない場合には、他人が代筆しても差し支えありませんが、代筆

潜在看護婦講習会

県では、看護婦の免許をもちながら家庭におられる人の職場復帰を容易にするため、講習会を開きます。最近の医療技術の向上に即応できるように、専門職としての自覚ある人の参加を求めています。

- (1) 日時 九月二十七日(月) 十月二日(土) まで(平日は午前九時～午後四時まで。土曜日は午前九時～正午まで)
- (2) 場所 山口県看護研修会館 山口県立衛生看護学院 (いずれも防府市)
- (3) 内容 最近の看護に関する知識、看護学および技術演習
- (4) 受講料 無料
- (5) 宿泊 希望の方は看護研修会に宿泊できます。(泊食費別 千五百円)
- (6) 申込み期限 九月二十日
- (7) 申込み方法 ハガキ又は電話
- (8) 申込み先 七五三 山口市 滝町一 山口県庁医務課看護係(TEL〇八三九一二二二二) 内線(二四四)

あて名はくわしく住所変更は届けを

郵便物が正確に届くために住所を変わった郵便局に転居届を出しましょう。届けを出しておけば旧住所あての郵便物でも一年間は新しいところへ転送されます。そのままにしておくと「あて先の住所に該当する人が見当りません」というようになり、郵便物が届きません。

9 月 の メ モ

- 12日 町議会議員選挙投票日(前7時～後6時・4カ所)
- 15日 敬老会(前9時・公民館3階)
- 15～21日 老人福祉週間
- 21～27日 環境衛生週間
- 23日 秋分の日
- 24～30日 結核予防週間
患者数7万、死者6千(1年間) いまさら結核なんて...そう、お思いの方に知っていただきたいのが、この数字です。町では6～10日まで、すでにご案内を差し上げております場所で住民結核検診を行います。ぜひこの機会に、検診しましょう。

公 民 館 行 事

- 8日 初心者ペン字教室(後1時半)
同和教育養成講座Aコース(後1時半)
- 10日 同和教育養成講座Bコース(後7時半)
- 11日 少年教育講座(後2時)
- 12日 親と子の本読みの会(前10時)
- 16日 俳画教室(後1時半)
同和教育養成講座Aコース(後1時半)
- 17日 あじのす大学秋期ゲートボール大会(前9時・町民グラウンド)
同和教育養成講座Bコース(後7時半)
- 21日 婦人学級(前9時半)
- 22日 初心者ペン字教室(後1時半)
同和教育養成講座Aコース(後1時半)
- 24日 同和教育養成講座Bコース(後7時半)

今 月 の 納 税

● 国民健康保険税

◇ 香典返し◇ 五万円◇ 益壽馨さん(縄北)は父寶雄さんの▽三万円◇ 原田八郎さん(宇部市)は父房雄さんの▽三万円◇ 尾上孝子さん(北祝)は夫潔さんの▽三万円◇ 網広忠夫さん(小南)は父昭男さんの◇ 篤志▽五百五十円◇ 前山部落は身体障害者福祉の市売上金の一部として▽千円◇ 岡本等代さん(飛石)▽四千円◇ 第19回阿知須小学校卒業生▽千円◇ 匿名希望

慶 弔 録

出生(おすこやかに)

親の名 続柄子の名月日住所
大野博教 長女 裕加 7.28 岩西
竹原政則 長男 達広 8.3 門松
國平都雄 長男 広途 8.3 南祝
佐藤勝治 二女 由加里 8.9 岩上
林和昭 二男 智也 8.11 北祝
福岡芳博 二男 保宣 8.12 浜表
岡藤信明 長男 大輔 8.16 杖川
藤井善雄 長男 雄志 8.20 沖の原

町の住民登録人口

(57年8月31日現在)	前月比
世帯 2,239世帯	+1
人口 8,436人	-3
(男 3,953人 女 4,483人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	

婚姻(おしあわせに)
氏名 旧姓 住所
河村宏次 律子(澁木) 寺河内
死亡(ご冥福を祈ります)
氏名 死年月日 年齢 住所
村田美由子 7.24 0 恵比須
網廣 昭男 8.18 53 小南